

富津市教育施策(令和3～5年度)の振り返り

1 学校教育の充実

1 確かな学力を身につけた児童生徒の育成

(1) 学力の向上

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (令和2年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	R5年度 到達見込
きめ細かな指導のために配置する指導員等の人数	指導補助教員 7人	10人	12人	12人
保護者アンケートによる「児童生徒が確かな学力を身に付けるための取組」に対する保護者の肯定的な評価の割合	88.8% (令和元年度)	92%	80.7%	86.3%

《成果》

指導補助教員の授業支援や放課後学習教室により、児童・生徒一人ひとりの能力・個性に合わせたきめ細やかな指導ができ、個々の学習課題の改善や基礎学力の向上を図ることができた。

《課題》

年々、対象の児童・生徒が増加しているため、指導補助教員一人による学習指導・支援が困難な場合がある。そのため、一人ひとりにきめ細やかな指導が行き届かないこともある。また、参加児童の中には、集中できない児童・生徒もいる。

《対策》

今後も、一人ひとりの授業のつまずきや困り感に寄り添い、授業の復習や宿題への支援を充実させ、学習意欲を引き出し継続させ、主体的に学べる児童・生徒の育成に取り組んでいく。

(2)読書活動の推進

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (R2年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	R5年度 到達見込
きめ細かな指導のために配置する指導員等の人数	読書支援員 0人	3人	3人	4人
読書が好きな児童生徒の割合	80.7% (R元年度)	86%	80.4%	76.2%

《成果》

読書支援員を4人確保できたことで、各校に毎週1日ずつ読書支援員を配置することができた。図書室の環境整備が進み、授業中だけでなく休み時間にも図書室を利用する児童・生徒が増加した。

《課題》

読書支援員の配置や図書環境の整備などを進めているが、読書好きの児童・生徒の割合が増えていない。

《対策》

今後は、読書好きの児童・生徒を増やすために各校の取り組みを工夫し、充実させていく。また、次年度からの図書のデジタル管理に向け、整備を進めていく。

(3)外国語教育の充実

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (R2年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
きめ細かな指導のために配置する指導員等の人数	外国語指導助手(ALT) 3人 英語指導員 3人	3人 7人	3人 3人	3人 3人

《成果》

小学校の外国語活動及び外国語において、担任の補助並びに支援を行い、児童の英語力を向上させる一助となった。更に、英語指導員と担任と一緒に授業をすることにより、教員の英語指導力を向上させることができた。

《課題》

外国語指導に係る環境整備や ICT 機器の利用について、外国語授業にて有効活用できるよう、職員研修の充実を図っていく。

《対策》

今後は、小学校から中学校へのスムーズな接続のため、情報共有や授業参観等の小中連携を図っていく。

(4)特別支援教育の充実

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (R2年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
きめ細かな指導のために配置する指導員等の人数	自立支援指導員 4人 適応指導相談員 2人 特別支援教育指導員 6人	4人 2人 7人	5人 2人 6人	5人 3人 6人

《成果》

個別の支援を要する児童生徒への支援のために、小学校 6 校や富津市適応指導教室に人員を配置している。

《課題》

9 小中学校から人員配置の希望があるが、3 校に配置できていない。

《対策》

個々の特性に応じた、指導支援を行うために、多くの学校の希望があるため、特別支援教育指導員を増員したい。

(5)教職員研修の充実

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (R2年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
きめ細かな指導のために配置する指導員等の人数	ICT支援員 0人	2人	3人	3人

《成果》

教職員夏季研修講座は、各教科・領域の授業づくり・読書活動の推進・生徒指導・教育相談・特別支援教育等の全13講座を実施し、286名の参加があった。教職員の力量アップにつながる充実した研修となった。さらに、管理職研修・中堅層研修、英語指導員、指導補助教員研修、読書支援員等の研修も実施し、担当や分掌に即した専門的な知識や技術を高めることができた。

《課題》

コロナやインフルエンザの感染予防のため、体験研修の企画・運営はなかなかできなかった。やはり、実際に体験しながら学べる研修も必要である。管理職や担当者に向けた、災害に備えた防災研修についても実施しなければならない。

《対策》

児童・生徒の学力向上や技能向上につながる教職員の授業改善を目指し、具体的なよい授業づくりの研修を充実させていく。また、今後も学校や教職員のニーズに対応した研修を企画・運営していく。

2 豊かな心の児童生徒の育成

(1) 富津市の環境や風土を生かした学習の推進

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (R元年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
自分の地域を肯定的に捉えられる児童生徒の割合	88.6%	90%	92.4%	87.6%
自分の地域の良さが回答できる児童生徒の割合	94.5%	96%	65.4%	67.5%

《成果》

今年度は、少しずつコロナ禍以前の教育活動に戻りつつあるので、各学校において、富津市の環境や風土を生かした学習を推進し、地域の良さを実感できる工夫ある取り組みをしている。

《課題》

コロナ禍以前に戻りつつあるが、なかなか地域のフィールドワークや地域の方との授業交流を行うことができない学校もある。

《対策》

今後も、富津市や地域の良さにふれる機会を意図的・計画的に行い、地域を活用した教育活動を充実させていく。

(2) 生徒指導上の課題の解決

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (R2年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
きめ細かな指導のために配置する指導員等の人数	自立支援指導員 4人	4人	5人	5人

《成果》

市内小学校3校、中学校2校へ配置をすることで、不登校や学校の悩みや不安を抱えている児童生徒に対して、教育相談や学習支援等、個々に応じた支援をすることができた。

《課題》

配置できていない小中学校においても、同様の悩みを抱えている児童生徒が在籍している。

《対策》

今後は、市内全小中学校への配置を目指したい。

3 児童生徒の体力の向上と健康・安全教育の推進

(1)体力向上プログラムを活用した教科体育の充実

《成果》

市内小中学校では、コロナ禍以前の教育活動に戻りつつあることから、「自らの体力・運動能力向上に意欲的に取り組む児童生徒の育成」に向け、学年の発達段階に併せた指導の充実を図ることができた。

《課題》

コロナ禍のステイホーム生活が長期に渡ったことによる、児童・生徒の体力の低下が懸念される。児童・生徒に運動習慣を身につけさせるために、発達段階に併せた指導とともに、指導内容の工夫が求められる。

《対策》

児童・生徒の体力低下について、運動種別ごとの評価・考察を行う。正課時授業で効果的な指導ができるよう、教師の指導力向上を目指すため、授業実践例の共有、授業参観等を実施していきたい。

(2)児童生徒の健康増進

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (R元年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
肥満傾向の児童の割合	12.3%	10%以下	13.8%	15.0%
肥満傾向の生徒の割合	9.8%	8.5%以下	12.7%	12.9%
歯垢が付着している児童生徒の割合	20%	15%以下	18.4%	17.3%
学校を卒業した後も、自主的に運動やスポーツに取り組みたいと考える児童生徒の割合	75.8%	82%	84.2%	県調査結果収受後 確認可 12/8現在

《成果》

- ・歯科衛生士による歯みがき指導については、R5から全小学校で再開した。染め出し実習は予防対策がとれる学校のみ実施)歯垢付着の割合も減少傾向である。
- ・生活習慣病等の改善を要する児童生徒及び保護者に、栄養教諭・養護教諭等で、正しい知識と望ましい生活が送れるよう指導・支援を実施した。中学生には更に、HbA1cの結果、正常高値者で肥満傾向にある希望者に、糖尿病予防のための指導支援を、市保健師・栄養士が実施。取組4年目となり、面談が定着してきたと感じる。

《課題》

- ・ 歯科衛生士による歯みがき指導については、コロナ禍で指導が困難な期間が長く続いていた。
- ・生活習慣病等の改善については、面談希望者は学校間で希望者の差が大きいところがある。

《対策》

- ・ 歯科衛生士による歯みがき指導については、今後も積極的に実施していきたい。
- ・ 生活習慣病等の改善については、希望しなかった者等への手立てを工夫したり、教育委員会より学校から保護者への周知依頼を丁寧に行うよう説明したりするなど今後も継続した指導を行っていく。

4 児童生徒の成長を支える教育力の高い教育環境の整備・充実

(1) 学校再配置計画の推進

《成果》

保護者への説明会を実施する中で、保護者の意見や質問などを伺い、市教育委員会の考えを伝え、慎重に計画を進めている。

《課題》

コロナ禍では、学校再配置のための保護者説明会を実施することができなかった。

《対策》

学校再配置について、保護者や地域住民の質問や意見に回答することで、再配置することのよさを丁寧に説明する。

(2) 学校安全教育・防災教育の充実

《成果》

学校における危機管理が適切に行われているかを確認するため、各校の「危機管理マニュアル」を確認し、必要に応じて、指導・改善を行った。

「こども110番の家」を新規募集し、今年度は新たに3件の協力者を得ることができた。

通学路安全対策協議会において、各校から挙げられた通学路の危険箇所について、現地確認を実施し、関係機関と協議をして具体的な対応・改善を講じることができた。

《課題》

「危機管理マニュアル」は、改善が適切に行われているか、毎年確認する必要がある。

「こども110番の家」についても、継続した活動が可能かどうか、毎年確認する必要がある。

通学路安全対策協議会において決定した対策内容について、関係機関と連絡を取り合い、進捗状況を確認していく必要がある。

《対策》

「危機管理マニュアル」について、毎年4月に記載内容の確認を行う。

「こども110番の家」について、継続した活動が可能かどうか、各学校をとおして確認を行う。
また、新規の協力者を得られるように、広報活動を行う。

通学路安全対策協議会で決定した対策内容について、定期的に進捗状況を確認する。

(3)学校施設の整備

《成果》

「富津市学校施設整備基本計画」に基づき、青堀小学校校舎改築事業に着手した。他の学校施設においても学習環境の整備に努めている。

普通教室へのエアコン設置、トイレの洋式化などを行い、児童生徒が安全に快適に過ごせる環境を整備してきた。

《課題》

大佐和中学校屋内運動場への緊急対応や建設コスト高騰の影響を受ける困難な状況。学校の校舎や屋内運動場などの施設の多くは建築後40年以上が経っており、建物だけでなく、多くの設備の老朽化が進んでいることから、その対応が大きな課題となっている。

また、近年の夏場の猛暑対策としての特別教室や屋内運動場への空調設備等の整備、ゼロカーボンシティへの対応、学校施設の防犯管理などへの新たな課題への対応が求められている。加えて、全校一斉に整備した普通教室の空調設備更新への対応も順次必要となる。

《対策》

財政状況を注視しながら、計画的な整備に努める。

緊急度や安全安心への寄与度の高いものなど優先度をつけ、実施していく。今後の更新についても計画的に実施できるよう財政計画に計上する。

(4)給食施設の整備

《成果》

給食施設の整備については、令和3・4年度に実施した富津市学校給食共同調理場基本・実施設計に基づき、新しい共同調理場の建設工事に着手している。

《課題》

建設スケジュールに沿って確実に進むよう進捗状況を管理していく。

《対策》

令和7年4月の供用開始を目指す。

(5)学校と保護者・地域が連携・協働した地域の教育力の向上

《成果》

各中学校区に1校ずつ、小学校3校において学校運営協議会制度を実施し、2年目とな

《課題》

学校運営協議会制度を実施している3校において、取組の内容を検討し、充実を図っている。

《対策》

実施学校での取組の成果と課題を、他の小中学校でも共有し、令和7年度、市内全小中学校での学校運営協議会制度の実施を目指す。

(6)教職員の働き方改革

《成果》

教育職員の時間外在校等時間を、原則、1か月において45時間、1の年度において360時間となるよう、富津市小学校及び中学校管理規則に定めた。

《課題》

時間外在校時間が1か月において45時間以上となる教職員が中学校において多くいる。

《対策》

各学校の勤務実態を月ごとに把握し、改善が必要な場合は指導し、働き方改革の推進を図っていく。

2 生涯学習の充実

1 学び、活かす生涯学習の推進

(1) 学習機会の提供

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
公民館・市民会館利用者数	96,475人	100,000人	52,287人	55,000人
人材バンク「まちの先生」の利用件数	62件	70件	46件	50件

《成果》

(生涯学習課)

人材バンク「まちの先生」制度による学習支援や「生涯学習情報提供誌」の発行による学習機会の情報提供など、生涯学習環境の充実を図った。

(公民館)

新型コロナウイルス感染症の規制緩和により公民館活動が再開され、行事等も執り行われるようになった。前年度よりも公民館・市民会館利用者数が増加する見込みではある。

《課題》

(生涯学習課)

少子高齢化・核家族化の進展とともに、地域における人と人のつながりの希薄化が進み、地域に根ざした学習活動の機会は減少傾向にある。

(公民館)

コロナ禍で活動が停滞・停止したままの団体もあり、目標値には到達しないと思われるため、活動再開に向けた助力が課題となっている。

《対策》

（生涯学習課）

学習機会の提供はもとより、「学び」の重要性についても啓発していく必要がある。

（公民館）

公民館主催事業の教室・講座の他、主な公民館使用団体である各サークル団体等の活動のPRを推進し、新規入会者の確保に協力する。

館内のアルコール除菌など、コロナ対策として従来と同様の清掃に努める。

（2）社会教育関係団体の支援

《成果》

（生涯学習課）

各種団体が行う事業へ積極的に連携・協力するほか、活動に対する補助金を交付するなど社会教育団体の維持及び発展を図った。

（公民館）

公民館は使用料が原則有料であるが、社会教育関係団体の場合は減免（無料）による使用を認めている。

《課題》

（生涯学習課）

地域コミュニティの衰退に加え、社会教育関係団体に対する考え方や価値観の多様化により、団体またはその活動は縮小傾向にある。

（公民館）

公民館の老朽化や各種設備の故障により使用制限が発生している。

《対策》

（生涯学習課）

PTA や女性会などといった社会教育団体の活動は、社会貢献、地域活性化にもつながるため、継続的な活動支援や担い手の育成支援を行う。

（公民館）

施設の現状を注視し、財政状況に応じつつ、計画的な整備に努める。

（3）社会教育施設の整備

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
図書利用冊数	31,416冊	32,000冊	32,472冊	130,000冊

《成果》

イオンモール富津内への図書館の整備、インターネットを通じて電子書籍が楽しめる電子図書館の導入など図書施設の充実化を図ったことで図書利用冊数は飛躍的に増加した。

《課題》

図書利用者が図書館近隣地域に偏在していることから、図書館から離れた地域の方々や普段あまり本に親しみのない人にも図書館の利用促進及び読書推進を図っていく必要がある。

《対策》

本市図書ネットワークの基幹館となる市立図書館を中心に指定管理者と連携しながら魅力的な行事・イベント等を展開し、図書サービスの認知及び施設の利用促進を図る。

2 家庭教育への支援と連携・協働の推進

(1) 家庭教育支援チームの活動

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
放課後ルーム開設数	1箇所	4箇所	3箇所	3箇所

《成果》

家庭教育指導員・支援員がコーディネーターとなり、福祉部署と連携を図りながら、家庭の状況把握や相談対応など、切れ目のない支援に努めるとともに、放課後ルームを開設し、放課後の児童の居場所を提供している。また、保護者等との交流を通して地域のつながりを深め、地域と関係機関が一体となった子どもの育成環境整備に取り組んだ。

《課題》

家庭教育支援チームの主事業となる放課後ルームの安全・安心な持続運営を行っていくためには、子供達の見守りを行う地域の大人の協力が必要不可欠であることから、担い手の育成とともに支援体制（ボランティア等）を検討・整備していく必要がある。

《対策》

放課後ルーム登録児童の保護者や先駆けて実施している図書ボランティア登録者等を通じ、担い手を募るとともに育成を図っていく。

(2) 地域学校協働活動の推進

《成果》

地域学校協働活動の一環として、社会教育指導員を中心に学習サポート会を実施、塾に通っていない生徒に対し、基礎学力をつけるための学習支援、学習サポート会（地域未来塾）を実施。

《課題》

今後様々な事業を展開していくためには、地域の方々の支援が必要不可欠であることから、担い手の育成とともに支援体制(ボランティア等)を検討・整備していく必要がある。

《対策》

放課後ルーム登録児童の保護者や先駆けて実施している図書ボランティア登録者等を通じ、担い手を募るとともに育成を図っていく。

(3)青少年健全育成の推進

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
青少年相談員連絡協議会事業の参加者数	1,075人	1,100人	1,810人	1,900人

《成果》

地区毎に組織された青少年相談員連絡協議会や育成会により各種行事が行われ、青少年へ多様な体験を提供し、心と体の相伴った成長が促進されている。

《課題》

若者人口等の減少に伴い相談員等の担い手は減少傾向にある。

《対策》

後継者の育成が必要となってくる。

3 郷土愛を育み、多様な文化にふれ親しむ環境づくり

(1)文化財の保存・活用

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
指定・登録文化財の 件数	85件	87件	87件	87件
文化財来訪者数 (市案内分)	466人	500人	450人	500人

《成果》

指定文化財の拡充や、文化財の説明看板の設置、市立図書館郷土資料コーナーでの資料紹介のほか、鋸山日本遺産「候補地域」事業での市内小中学校を対象とした「鋸山の教室」を直営で実施するなど、文化財の保護や普及に努めている。

《課題》

史跡の景観維持のための環境整備は十分とはいえない状況にある

《対策》

今後、地域ボランティアの方々との良好な連携を築きながら、地域と一体となった史跡の環境づくりに取り組むため、文化財保護の方針を明文化した包括的な「文化財保存活用地域計画」の策定に向けた検討を行う必要がある。

また、内裏塚古墳群全体の国指定史跡化に向けて引き続き調査を行うとともに、保存・活用に向け、個別整備計画としての「内裏塚古墳群保存活用計画」の策定に向け準備を進めていく必要がある。

(2)文化芸術活動の推進

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
市民文化祭参観者数	14,271人	18,000人	9,126人	10,000人

《成果》

新型コロナウイルス感染症の規制緩和により、昨年度より参観者数の増加が見込まれるが、コロナ禍以前の参観者数には到達しないと思われる。

《課題》

文化祭は本来、『サークル活動の発表の場』『市民同士の交流』という目的であったはずだが、参観者数が主成果として挙げられる風潮がある。

《対策》

文化祭の意義を再認識し、参観者数だけを重視しないように実行委員会と共通認識を図る。

4 スポーツ・レクリエーションの振興

(1)スポーツ・レクリエーション施設の整備

《成果》

既存の体育施設については、指定管理者により適切な管理運営が成されている。

また、学校施設の開放については、利用に際し登録申請を行った特定の団体に対し、利用を許可している。

《課題》

経年劣化により各施設及び設備の大規模な修繕を行う必要があり、修繕額の増大が課題となっている。

また、学校施設の開放については、団体に所属していない場合に個人のスポーツ参加への機会が失われることが考えられるため、今後の検討課題となっている。

《対策》

額な修繕費用が考えられることから、費用の圧縮や効果的な修繕について検討を行い、財政担当課との実施時期等の調整が必要である。

個人の使用の際は行政財産使用申請の案内を行い、施設の利用促進を図っていく。

(2)地域におけるスポーツ・レクリエーションの振興

《富津市教育施策の施策目標と到達点》

指 標 名	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	到達点 (R4年度)	到達見込 (R5年度)
スポーツ関連の行事 参加者数	13,730人	14,000人	4,173人	4,200人

《成果》

スポーツフェスタや市内各体育団体主催によるスポーツ大会の開催に積極的に協力することにより、身近な健康づくりを促進する取り組みが出来た。

《課題》

人口減少等により、各スポーツ団体の人数も年々減少傾向にある。

《対策》

市内団体と連携を図りながら、スポーツに関する大会や教室を開催し、身近な健康づくりを促進する取り組みについて、引き続き実施していく必要がある。また、健康づくりや体力づくりもスポーツであるという意識の共有を図り、健康寿命の延伸を目指していきたい。

